

# きずな

2010年11月22日

NO 910

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (Tel. 62-6200)

日本共産党井原市委員会（森本ふみお委員長）の8人が、8日井原市役所で瀧本豊文市長に「平成25年度予算編成にあたっての要望書」を手渡し、要望に対する回答をいただき、1時間半にわたって意見交換をしました。先週（第909号）に続いて要望項目をお知らせいたします。

### 先週号からつづく

- 朝の通勤時大渋滞する、七日市町内の市道井原北川線と日芳橋塚原線の三差路交差点を早期に改良すること。
- 2011年度に住宅リフォーム補助制度が創設され、2012年度も引き続き実施されている。また、2012年度から、いばらぐらし住宅新築補助制度も行われている。来年度もどちらの制度も継続実施すること。また、広報や井原放送、地方新聞などに働きかけ、積極的に制度の周知を図ること。
- 農業の多面的機能の発揮・発展に関し、中山間地域等直接支払制度の積極的な活用と、次期対策に向け、制度の充実と弾力的な運用を国に働きかけること。
- 零細で畑作が多い井原の特性に応じ、定年退職者等高齢者就農支援を念頭に、農業の多面的な担い手の育成・支援を強力に進めること。
- 地球温暖化によって、農作物の品質に影響が現れつつある。特に井原特産の「ピオーネ」の着色不良は深刻だ。これらについての試験・研究をするよう国、県に働きかけると同時に、市独自でも実証圃場の設置をすること。
- 先般、テレビで農作業をすることによって、健康寿命を高める効果があると報道されていた。一定の年齢以上で一定の日数以上の就農者に、国保税や介護保険料を軽減する施策を講じること。
- コメ輸入を削減・廃止し、国が進める大経営を対象とした対策をやめ、家族経営を守り、生産調整の押し付けはせず、ゆとりあるコメ生産ができる仕組みを国に要請すると同時に、主要農産物について再生可能な価格・所得保障を行うよう国に強力に要求すること（農業者は農業政策がコロコロ変わると大変困る）。
- 地産地消を推進し、食育に積極的に取り組むこと。
- 井原、芳井、美星の特産品を個別一体的に捉え、井原の特産品として全国に発信すること。
- 新農政、新農業基本法実施に伴い、



### >>>

- より一層深刻になった農業（農家）を守っていくため、自治体として、独自の農政を進めること。
- イノシシ・サル及びヌートリアの被害対策を改善・強化すること。
- 集落営農等を推進・強化すること。
- 米価が安値で推移しているため、農業、農家を守る観点から市独自の援助を考えること。
- 安全・安心を阻害する構造上の欠陥をはらんでいる歩道の改修・整備をすること。
- 市民の安全確保のため、消えかかっている外側線を緊急に引き直すこと。
- 市民の安全・安心のため、崩落などの危険箇所を総点検すること。
- 雇用及び中小企業の実態調査を行い、雇用と産業の活性化策をすすめること。
- 空き店舗対策、駐車場対策など商店街の活性化をはかるための支援を行うこと。
- 生活道路や水路改修など生活に密着した公共工事を増やし、地元業者への優先発注をおこなうこと。
- 市内の道路工事箇所の通行の安全確保のため、業者を強力に指導すること。また、通行止めにする場合は、関係者の意見をよく聞き実施させること。
- 定期的に市内の公園や通行上の危険箇所を総点検し、早急に適切な手立てを講ずること。
- Uターン、Iターン者の支援制度を実施すること。
- 井原鉄道の市内各駅への放置自転車などを定期的に確認し、適切・迅速に処理すること。



要望書提出後お互い  
に意見交換

### 【水道部関係】（3項目）

- 他地区と比べ美星地区の高い水道料金を井原地区と同一にすること。
- 独身者や高齢者の2人暮らし世帯に対し、上水道及び簡易水道の基本料金の使用量を細分化すること。
- 高齢者の1人暮らし世帯や高齢者夫婦のみ世帯に対し、公共下水道の工事費や負担金等の補助をおこなうこと。



2面左上へつづく

## 1面右下よりつづく &gt;&gt;&gt;

## 【市民病院関係】 (5項目)

- 医学奨学生育成の観点から医学金制度を導入すること。
- 卒後研修の期間として、医師を受け入れられる病院として充実させること。
- 井原市民病院内に職員で構成する医師、看護師等対策委員会というような組織を立ち上げ、専ら医師、看護師等の確保のための情報収集を行い、対策委員会のメンバーが中心になって行えるくらいの組織にすること。また、医師、看護師等を募集していることをたえず広報すること。
- 医療体制に対し、依然として市民から多くの苦情が寄せられている。医師確保は一定改善されているが、さらに医師を早急に確保し、患者さんたちが安心して医療が受けられるような体制にすること。
- 新薬より購入価格の安い後発薬に切り替える努力を引き続き一層強めること。

## 【教育委員会関係】 (26項目)

- 井原市グラウンド・ゴルフ場の事務所に、様々な大会開催時に、パソコンに結果を打ち込むことで、比較的簡単に順位が分かるようにするため、市の備品として、パソコンとプリンターを設置すること。
- 児童・生徒の学力低下が問題になっている。教育委員会、各学校の管理職、現場の教員等が学力低下の原因を分析・研究し、学力を向上させるための方針を立てること。
- 井原市文化財保護審議会委員を全地域から選出すること。
- 中学校での柔道必修化に伴う事故や皮膚感染症対策の強化をすること。また、柔道着購入は、男女を問わず、すべて学校で購入すること。
- 早期に小・中学校及び市立高校を3学期制に復活すること。
- 教育委員会主催で、市内の外部講師を招いて講演するシステムを構築すること。
- 市内全幼稚園で3歳児の受け入れをすること。
- 井原市立高等学校の移転・新築計画を早急に具体化すること。
- 給食センターを将来にわたって民間委託しないこと。

&gt;&gt;&gt;

- 幼・小・中・市立高校の普通教室にエアコンを早期に設置すること。
- 井原・芳井・美星地区の方言を後世に伝承するため「方言辞典」を早期に作成すること。
- 国の制度の廃止により、支援員の数が減少する可能性が出てくる。現場では、支援員配置の要望が依然として強いので、十分な予算付けを行い、増員も図ること。
- 市内の学校施設の老朽化が著しい。毎年出される各学校からの営繕（補修）工事の要望が、あまり実施されていない。十分な予算付けをして、これらの要望に応えること。
- 学校施設以外の教育委員会所管の公共施設の耐震診断100%実施をめざすこと。また、耐震工事が必要と診断された施設は早期に工事を行うこと。
- 市内全校の学校図書館に兼務でない学校司書の配置と正職員化をはかること。
- 発達障害児の支援を行うこと。
- 学校教職員専用の男女別トイレや女性教員の更衣室を設置すること。
- 全国学力学習状況調査・教員免許更新制を中止するよう国に意見をあげること。
- 市内で不審者の出没があとを絶たない。児童生徒の見守り隊を全体的に充実・強化すること。
- 井原市を他市に宣伝する目玉が少ない。旧山陽道に面した井原、芳井、美星の興譲館高校との関わりを調査・研究し、改めて歴史を掘り起こし、井原市ここにありと全国発信すること。
- 文化予算を増やし文化団体の育成に努め、市民の文化活動を盛んにすること。
- 全国的には、学校でのいじめや、いじめによる自殺が増えています。本市でも学校、地域、教育委員会が連携を密にし、いじめなどが起きないように万全の策を講じること。不幸にしていじめがあった場合は、担任の教師一人に任すのではなく、学校全体の問題としてこれらの根絶にあたること。
- 小・中学校の学級生徒数を30人以下学級にすること。
- 複数園を兼務する園長でなく、全幼稚園に専任園長を配置すること。
- 教員が教員本来の任務が遂行できる条件づくりのため、小・中学校に校務員を配置すること。
- 日の丸・君が代の強制を行わず、憲法を尊重し「こどもの権利条約」の精神に基づく教育をすすめること。



この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://jcp-seibu.sakura.ne.jp/morimoto/>) でも見れます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙2,900円日曜版800円)